

## 週日の説教

金 大烈 神父 2010年5月12日(水)

### 《聖霊の働きを信じましょう・(闇からの開放)》

おはようございます

先日の司教様司牧訪問、また堅信式のあった主日のミサには、(5/9)それぞれに皆様が色々ご協力下さいました。お一人お一人にご挨拶申し上げます。本当にありがとうございました。

さあ、昨日も今日も、聖霊様についてイエス様がおっしゃっています。皆様、聖霊様の働きを感じていらっしゃる信仰の生活でしょうか。その場では直ぐに「これは聖霊の働きだ」とは分かりません。しかし、振り返ってみますと「ああ、私の歩んできたこの道、やっぱり聖霊様がちゃんと導いて下さったなあ」という気持ちになるのが、大体の私達の心じゃないかと思います。認めますか。

簡単に説明しますと、私が太田教会に来ましたよね。そして皆様と色々な絆を作ってきたのですが、私にとっても、皆様にとっても、お互いに傷を与えたりもらったりそういう時もあったでしょう。全体的に考えてみますと、お互いに勉強になったし、励まされて来たと思います。「信仰の道がどうか一歩でも進んだ」と言える実りを感じられますよね。私自身も皆様によって結構勉強が出来ました。そういうことも神様の御旨がなかったら、そして、聖霊様の働きがなかったら出来ない事だと思います。

この様に考えてみますと、不思議じゃない事は、この世の中に一つもありません。「奇跡じゃないよ」と言える事はほとんどありません。全てのことが感謝すべき不思議な奇跡、働きじゃないかと私は思います。

聖霊様の特徴は、一つには“求めなければ働かれない”そういうことを意識しましょう。昔からある伝統的な祈りの中で、聖霊様に呼び掛ける祈りの文が結構あります。それには訳があるからです。私達がいつも何かをする時に、怖さを感じる出来事が待っている時に、まず聖霊様の働き、助けを求める心が必要じゃないかと思います。

別な話を申し上げます。此の頃、新聞とかテレビのニュースとか見たくないくらいに、色々痛みを感じさせる事ばかり起きています。その中で、昔から今までいつも問題になっているのは、色々な壁を作って、城壁を作って、互いに“異邦人として見るその目”ですよね。そういうことによって、やはり力のない者達が犠牲になってしまいます。そのなかで一番犠牲になるのは、子供達と女性だと思います。イエス様が2000年前救いのために、私達の救いのために来られたのですが、あまり変わらないこのような世界の流れを見たら、やっぱり心が痛いです。

さあ、今現在イスラエルの大統領で、ノーベル平和賞を頂いたその方は、シモン・ペレスと言う人ですね。その人が何年か前に、世界経済フォーラムで発表したお話を皆様を紹介したいのです。その人がフォーラムに集まった人々の前でこの様な話しをされました。あるラビが、イスラエルのラビが弟子

達を集めて、大勢の弟子達の前で「夜が明けるその時を、正確にどのように見分けられるか」と質問したそうです。弟子の一人が「それは、羊の群れの中にいるワンちゃんを見分けられたら、識別が出来たら、その時こそ夜が明ける瞬間です。」と、答えたそうです。もう一人の弟子は「いいえ、それよりも遠いところにある、いちじくの木とオリーブの木を見分けられるその時こそ、夜があける瞬間でしょう。」と答えました。けれどもその話を聞いたラビは「相応しい答えとは言えませんが、二人ともある程度は近づいた答えです。」と言い、「さあ、これから私が言う話をちゃんと聞きなさい。」と言いながら「私達がいるところに、遠くから近づいて来る異邦人を、自分の兄弟として受け入れ、あらゆる葛藤を消滅させるその瞬間こそ、夜が明ける時である。」と答えたそうです。

異邦人と言う言葉は、遠い所から来た人、よその人と言うよりも、もっと遠くから来たような、人に対してのニュアンスがありますよね。しかし実際に異邦人と言えば、哲学的に言いますと、“心の壁”、壁がある人を全て異邦人と言います。信者の生活しながらも、同じ国民でありながらも、いわゆる同じ人間であるにもかかわらず、私達は色々な憎しみの壁を、色々な距離感の塀を持っています。自然に作ろうとして作るのではなくて、投げかけられて作っている塀を沢山持っています。結局私達が、光の息子、娘、子供として、生きることが出来るようになるには、やはり、闇から開放されなければなりません。闇から開放される事は、“夜が明けて朝を向かえる事”ですよね。そのために自分の中にあるさまざまな、排他的な心の働きから癒されようとする努力が必要じゃないかと思います。よく考えてみて下さい。皆様が少しでも憎しみを持ってしまい、率直に自分を現すことが出来なかったら、またそのような人々がいれば、その人々は異邦人として自らを置いたことになってしまいます。

皆様、私達は誰でもそういうさまざまな城壁から開放される必要があります。その開放される唯一の方法は、私の体験としてはお祈りしかないと思います。「聖霊の働きによって、お互いに和解させる力を与えて下さい。」という願い、その願いによって私達は解放されます。自分でも知らないうちに、無意識的に、相手にすぐ傷を与えてしまいます。口によって、指差しによって、視線によって、手振りによって、私達は傷を与えながら生きています。

皆様、今日の聖霊の働き、イエス様がおっしゃって下さった聖霊の働きを信じましょう。そして、相手を自分の兄弟として受け入れること、真に受け入れることによって、自分も光の子として幸せを感じられることを確信しましょう。

ありがとうございました。